

(1) 平成29年度事業報告について

○ 動物愛護教室

動物愛護思想及び動物の適正飼養の普及啓発を図るには、次代を担う子供たちに対する教育が不可欠であることから「動物の愛護及び管理に関する法律」及び「岐阜県動物の愛護及び管理に関する条例（所有者等の義務及び遵守事項）」に基づき、小学生を対象として動物についての理解、生命を慈しむ心の育成、動物愛護意識の高揚及び動物による危害の防止を目的とした動物愛護教室を開催する。

平成29年度は、各保健所で15回実施した。

動物愛護教室開催状況

回数等／年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
開催回数	1 0	8	1 1	9	1 5
受講人数	4 3 1	2 3 5	5 1 9	4 4 2	1 , 2 2 3

【平成29年度実施報告】

岐阜保健所及び本巣山県センター（羽島市立小熊小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について講義。
 - ・動物を飼うことの責任について講義。
 - ・動物愛護推進員の協力で犬とのふれあいを実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・年齢差（学年）による内容の理解度を考慮して言葉や内容を変える必要がある。

西濃保健所及び揖斐センター（養老町立多度小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・事前のアンケートで保健所について知っている事など尋ね、その回答を基に講義を構成したため、興味をもって聞いてもらえたと思われた。
 - ・猫の室内飼養について詳しく説明したところ、講義後のアンケートでもこのことに記載している児童が多く、興味を持って聞いてもらえたと思われた。

関保健所（関市立寺尾小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所、動物愛護センター）
 - ・保健所の動物愛護管理業務及び動物愛護センターの業務について講義。
 - ・スピーカー付聴診器により人の心音の体感してもらった。
- 保健所担当者の所感
 - ・普段の授業では行わない児童自身の心音を聞くことについて、児童に好評であったと思われる。

郡上センター（郡上市立八幡小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）
 - ・保健所の動物愛護管理業務について講義。
 - ・動物愛護推進員による犬猫との接し方について講義。

- ・獣医師と動物愛護推進員のもと、4頭の犬と児童による犬とのふれあいの実施。
- ・動物愛護推進員による動物介在活動について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・講師（推進員）は、獣医師としての経験やJ A H Aのパピーケアスタッフ養成講座の受講、しつけ教室の講師経験があり、児童にわかりやすい講義であった。
 - ・犬猫の接し方の講義を受けた後、犬とのふれあいを行ったため、児童たちは講義の内容を生かした接し方ができていた。

可茂保健所（美濃加茂市立古井小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・小学校で飼育しているウサギの飼育関係の話を交えて動物愛護に関する講義。
 - ・動物介在活動の講義と実演。
- 保健所担当者の所感
 - ・実際に学校で飼育しているウサギの話を交えて動物愛護の話をしたため、児童に実感を持って話を聞いてもらえたと思われた。
 - ・児童は動物介在活動犬による実演を見て大変感心した様子であった。

可茂保健所（美濃加茂市立古井小学校、美濃加茂市立加茂野小学校）

- 実施方法及び内容（講師：農業生産法人、岐阜大学、美濃加茂市、保健所）
 - ・ヤギの生態やふれあい時の注意事項、ヤギによる除草について講義。
 - ・ヤギとのふれあいの実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・美濃加茂市が命の大切さを学んでもらおうと2年前から実施している授業であり、動物愛護の観点から共同開催することとなった。
 - ・ヤギの除草を通して動物愛護、食、環境整備、学校教育の分野での幅広い展開が期待できると思われた。

可茂保健所（八百津町立久田見小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所）
 - ・動物を飼うことの責任、動物虐待等について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・当該小学校での外部講師（保健所）を招いた動物の講義は初めてであったこともあり、児童は興味を持って聞いていたと思われた。

東濃保健所（多治見市立精華小学児童保育所・南姫小学校児童保育所・根本小学校、瑞浪市立土岐小学校）

- 実施方法及び内容（講師：保健所、動物愛護センター）
 - ・保健所の動物愛護管理業務、動物愛護センターの業務について講義。
 - ・スピーカー付聴診器を用いて人と犬の心拍数の違いなどについて体感してもらった。
 - ・ふれあいでは昨年度は犬のみであったが、今年度は猫とうさぎを加えた。動物へのストレスを考慮し、猫とうさぎについてはケージ越しのふれあいとした。
- 保健所担当者の所感
 - ・聴診器による心音を聞くことについて、児童全員興味を持って取り組んでいた。

東濃保健所（土岐市立妻木小学校）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）
 - ・ウサギの生態や接し方について講義。
 - ・ウサギとのふれあい及び人とウサギの心音の聞き比べを実施。

● 保健所担当者の所感

- ・児童から積極的に疑問を聞こうとする姿勢があり、興味を持って取り組んでいた。

恵那保健所（中津川市立加子母小学校）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員）

- ・生き物の命についての講義。
- ・うさぎの心音を聞き、人とうさぎの心音の違いについて説明、うさぎの管理方法等について講義。

● 保健所担当者の所感

- ・うさぎの管理方法を学んだ後にふれあいを行ったことから、学んだことを実践できていた。
- ・当該小学校はうさぎを飼育しており、今後の飼育に生かせる内容であったと思われた。

飛騨保健所及び下呂センター（中山保育園）

● 実施方法及び内容（講師：保健所）

- ・動物愛護に関する講義。
- ・動物とのふれあい方の講義。
- ・食物と動物のつながりに関する講義。

● 保健所担当者の所感

- ・自宅で犬猫を飼育していない家庭が多く、犬猫が怖いと感じる園児も多かったが、職員が丁寧に説明し、最終的にはすべての園児が犬に触れることができた。
- ・犬猫も家畜も同じ命であるとの話を真剣な表情で聞いている園児が多かった。

○ 愛犬のしつけ方教室

近年のペットブームを背景に犬及び猫をはじめとして動物を飼養する家庭が増加し、不適正な飼養による犬及び猫に関する保健所へ寄せられる苦情は多く、保健所に収容される犬及び猫は県下で年間約2,300頭(平成29年度)に上っている。また、災害時にはペットを連れて避難する飼い主が多いと予想され、人の生命、身体、若しくは財産に害を加えないよう日常からしつけを行うことは重要なことである。

このため、基本的な犬の「しつけ方法」等を広く県民に普及し、犬の適正飼養の推進を図る。

平成29年度は各保健所で8回実施した。

愛犬のしつけ方教室

回数等／年度	H 2 5	H 2 6	H 2 7	H 2 8	H 2 9
開催回数	8	10	9	8	8
受講人数	220	396	252	179	109

【平成29年度実施報告】

岐阜保健所（岐阜県保健所）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・各市町と管内在住の岐阜県動物愛護推進員に開催する旨のチラシの配布を依頼して参加者を募集した。
 - ・散歩などにおけるしつけや災害における緊急避難による対応などについて講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・参加者が5名であったため、スムーズに実技講習が行われた。

西濃保健所及び揖斐センター（西濃総合庁舎テニスコート）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・地域の広報により開催の周知を行い、申込みは抽選とした。
 - ・講師による命令の仕方、ほめ方、散歩の仕方、信頼関係の築き方等の講義と実演。
 - ・最後に相談時間をとり、個別に対処法などのアドバイスをした。
- 保健所担当者の所感
 - ・個別のしつけの悩みに対応するのは教室形式では困難なため、今回は内容を基本的なしつけとして実施。
 - ・実技を交えた講義はとても好評であったが、参加者数（10組）が多いと感じたため、減らす必要があると思われた。

関保健所及び郡上センター（中濃総合庁舎）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）
 - ・各市広報誌を用いて参加者を募集した。
 - ・飼い主の義務や災害時に向けた問題行動解決等について講義、犬のしつけの基本訓練について実演。
- 保健所担当者の所感
 - ・講師のデモ犬による実演の他、参加者が飼い犬とともに基本訓練を学ぶことができ、参加者からの質問に対しても丁寧に指導を行うことができた。

可茂保健所（向陽中学校グラウンド）

- 実施方法及び内容（講師：動物愛護センター）
 - ・御嵩町主催の避難訓練事業においてペットとの同行避難と避難所等における必要なしつけについて講義と体験。

● 保健所担当者の所感

- ・参加者の悩みや相談に対して講義や実演をすることができ、参加者も熱心に訓練に参加することができたと思われた。
- ・御嵩町の避難訓練と合同で開催したため、参加者の防災、減災への意識の高まりを感じた。

東濃保健所（東濃西部総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・保健所職員による「被災時の飼い主の対応について」講義。
- ・講師による基本的なしつけ方の講義。
- ・野外で実演の実施。
- ・それぞれの飼い主が抱える悩みに対し、アドバイスの実施。

● 保健所担当者の所感

- ・昨年度に比べ、参加者が少なかったため、個別の相談にのることができた。
- ・災害時に使用する動物収容用テントを張り、参加者に災害時の備えについて啓発することができた。

恵那保健所（恵那総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・ボランティアによる譲渡会に併せて開催。
- ・しつけ方相談の実施。

● 保健所担当者の所感

- ・犬の問題行動は各家庭によって様々であり、画一的なしつけ方教室では飼い主のニーズにこたえることが困難であるが、今回は個々の相談に対応することができた。

飛騨保健所（高山市役所）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・高山市市民健康まつりに実行委員として参加。
- ・基本的なしつけ方をデモ犬や犬を連れた飼い主と実演。
- ・猫の室内飼育の啓発も併せて実施。
- ・ペット防災対策の啓発も実施。

● 保健所担当者の所感

- ・しつけ方教室については犬猫を連れた方が少なかったが、個別の質問に回答できたため、参加者からは参加してよかったなどの声が聞かれた。
- ・災害時の備蓄等について質問を受けることも多く、市民の災害への備えに対する意識が高まっているのを感じた。

下呂センター（下呂総合庁舎）

● 実施方法及び内容（講師：動物愛護推進員、保健所）

- ・水産研究所のイベントに合わせて「愛犬のしつけ方教室」を実施。
- ・参加者の犬を用いて問題行動への対処方法について指導。

● 保健所担当者の所感

- ・参加者の具体的なしつけに関する相談について、講師が的確に対応していた。
- ・参加者が少なかったため、周知方法を見直す必要がある。

○ 動物愛護推進員活動支援事業

県が推進員活動の環境を整備し、その活動を支援することにより、県民に対する動物の愛護及び適正飼養等の普及啓発を図る目的で、各保健所及びセンター管内の推進員活動の支援を実施した。

【平成29年度実施報告】

岐阜保健所（羽島市立正木小学校）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：いのちの授業
 - ・ 児童を対象に推進員同行犬と児童とのふれあい及び福祉に関する講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 体育館等の広い会場の際には音響設備等使用等に工夫がいたると思われた。
 - ・ 床の状態により、同行した動物が滑ることがあるため、カーペットなどの準備が必要である。

本巣・山県センター（OKBふれあい会館）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：動物愛護推進員研修会
 - ・ 動物愛護推進員を対象に地域猫活動支援事業について動物愛護センターから講義。
 - ・ 県の動物愛護推進事業について説明及び報告。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 地域猫活動は市町との連携が重要であるが、管内市町関係職員の多数の参加があり、興味をもってもらえる題材であったと思われた。
 - ・ 地域猫活動については今後も多くの相談があると思われるため、定期的に情報を発信する必要があると思われた。

西濃保健所（輪之内町立大藪小学校グラウンド）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：平成29年度輪之内町防災訓練
 - ・ 輪之内町防災訓練におけるペット同行避難訓練での受付の実施。
 - ・ ペット同行避難時の避難用品の展示。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 受付場所が目につきにくい場所であったため、啓発のために場所の設定を考慮すべきであった。

揖斐センター（揖斐川町立大和小学校）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：学校飼育動物巡回指導
 - ・ 学校飼育動物巡回指導の中で児童等に対して飼育方法等の講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 児童のウサギの飼育方法に関する疑問について直接獣医師が回答し、有意義であったと思われた。
 - ・ 感染症予防についても併せて説明することができ、また、飼育状況を獣医師が把握し、指導することができるため、飼育環境の改善が期待できる。

関保健所（中濃総合庁舎）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：動物愛護管理業務に関する研修会
 - ・ 動物愛護管理業務に関する知識の向上を目的として、管内市担当者と動物愛護推進員へ講義。

(相談事例対応、災害時における動物救援、鳥インフルエンザ疑い発生時の対応について)

- 保健所担当者の所感
 - ・動物愛護推進員に県や市に寄せられる相談事例等の紹介や市で今後取り組む事業の協力依頼をすることができ、有意義であったと思われた。

郡上センター（郡上市八幡小学校）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・事業名：動物愛護教室
 - ・児童を対象に動物愛護に関する正しい知識向上を目的とした講義及び動物とのふれあいの実施。
 - ・動物介在活動犬について紹介。
- 保健所担当者の所感
 - ・普段犬と接する機会のない児童も積極的に犬とふれあうことができた。
 - ・動物介在活動犬を例に人とともに活動している犬について周知することができた。

可茂保健所（美濃加茂市立西中学校）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・事業名：美濃加茂市まちづくり出前講座
 - ・生徒を対象に犬の習性や動物愛護に関する講義。
 - ・推進員同行犬によるトレーニングの実演とふれあいの実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・講義は説明者が生徒に質問を投げかけながら進じたため、生徒が自ら考える意識を持つことができたと思われる。

可茂保健所（美濃加茂市生涯学習センター）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・事業名：とびだせ市長室 げん災カフェ（災害時のペットについて考えよう）
 - ・市民を対象とした災害時のペット防災に関することの講義。
 - ・参加者によるグループ討議、発表。
- 保健所担当者の所感
 - ・ペットを飼育している、していないに関わらず、ペットの同行避難について普及啓発することですべての避難者に向けて同行避難に対する理解を深めることが望ましいと思われた。

東濃保健所（東濃西部総合庁舎）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・事業名：平成29年度愛犬のしつけ方教室
 - ・市民や動物愛護推進員を対象に犬のしつけ方等の講義と実演。
- 保健所担当者の所感
 - ・動物愛護推進員を講師とし、管内の他動物愛護推進員にしつけ方を学んでもらう機会とすることができ、今後の推進員活動に役立てられる内容であったと思われた。

恵那保健所（恵那総合庁舎）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・事業名：動物愛護推進員研修会
 - ・動物愛護推進員を対象に動物愛護管理法に関することや人獣共通感染症について講義。
- 保健所担当者の所感
 - ・各市担当者も出席していたため、情報共有、情報交換の場とすることができた。

飛騨保健所（原山市民公園）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：高山わんにゃん教室
 - ・ 犬のしつけ方教室、ペットの健康相談、犬のふれあいコーナー、ペットの災害対策に係る啓発等の実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 地域新聞や市の広報で広く周知できたため、多く市民からの問い合わせがあった。
 - ・ 獣医師による健康相談やしつけ方教室など大変好評であった。

下呂センター（動物病院）

- 支援を行った活動の内容等
 - ・ 事業名：譲渡動物の健康診断
 - ・ 保健所から譲渡された犬の健康診断の実施。
- 保健所担当者の所感
 - ・ 飼い主が適正に終生飼養するためにも、今後も健康診断を促し、受診する機会を増やす必要があると思われた。

○ 岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーの育成

災害時に動物救護活動を円滑に行うためには、ボランティアや動物愛護団体の協力が不可欠であり、個々のボランティア等の力を十分に発揮するためには防災知識及び動物愛護に関する知識を有するリーダーが必要となる。このため、災害時にリーダーとして活動する岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーを養成し、登録している。(任期2年)

平成29年度は登録者への講習、平成30年度は新規登録者の養成を行った。

岐阜県被災動物救援ボランティアリーダーとは

1 活動内容

(1) 平常時

- ・ペットの災害対策に関する飼い主等への普及啓発

(2) 災害時

- ・動物救護ボランティアの受付
- ・避難所や動物収容施設等へのボランティア派遣の割り振り
- ・避難所や動物収容施設等での飼養相談受付、飼養管理方法の指導及び技術支援
- ・その他、岐阜県被災動物救援本部が必要と認めたもの

2 登録資格

岐阜県が実施する被災動物救援ボランティアリーダー養成講習会を3回以上受講し、登録しようとする時点で20歳以上であること。

講習会開催状況

○平成29年度（登録者への講習）

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	災害時の動物救援活動におけるボランティアリーダーのはたす役割	災害とボランティア活動について総合的な知識を学ぶ	(一財)ペット災害対策推進協会 沼田 一三 氏	29

○平成30年度（新規登録者への講習）

	演題	内容	講師	参加者数
第1回	災害時の心構えと対応	災害時の心構えと対応などについて学ぶ	岐阜大学地域減災研究センター 村岡 治道 氏	23
第2回	大規模災害発生時の対応（概論）と避難所における動物管理	被災動物の救援について学ぶ	特定非営利活動法人アナイス 平井 潤子 氏	23
第3回	ボランティア体験談	被災地でのボランティア活動体験談を聞く	ボランティアリーダー登録者	24

地域別被災動物救援ボランティアリーダー登録者数

地域	平成29年度 新規登録者	登録者	合計
岐阜	2	8	10
西濃	0	4	4
中濃	4	12	16
東濃	0	3	3
飛騨	1	8	9
合計	7	35	42

